

# 設計に際しての留意事項書

御浜町新統合小学校及び統合中学校新築工事基本・実施設計業務委託の履行にあたっては、「建築設計業務委託共通仕様書」、「建築設計業務委託特記仕様書」及び「御浜町新統合小学校及び統合中学校基本計画」（以下「基本計画」という。）に記載の内容のほか、本書記載の事項についても留意することとする。

## 1. 基本設計業務における基本的な検討事項

本業務においては、建築概要に記載の事項以外に関する各種仕様等が未定であり、基本設計業務においてより良いプランをまとめあげていくことを期待しているため、設計に係る各種の検討・決定においては、発注者との十分な議論が必要となる。

このため、当該過程において、受注者は施設に求められる利用者ニーズを的確に把握するための的確かつ効果的な手法を講じつつ、次に記載の事項等に関して複数の提案の比較検討・説明を行うものとする。（検討成果は、基本設計の成果物「各種検討書」として取りまとめる。）

なお、これらの検討において、コストが重要な判断材料となる場合があるため、各種の提案に際しては、できる限り当該費用についても提示するものとする。

また、次に記載の各検討にあたっては、基本計画を十分把握のうえ、検討を進めるものとする。

### ① 建築計画

小中一貫校として9年間を見通した教育活動ができるよう、ハード面において教育の特色を活かすことができる高い利便性や効率性に配慮した計画を検討する。

小学生、中学生が入り交じることでの安全性等の面から、小学校、中学校はフロアで分けることとする。ただし、それ以外（特別教室等）については利便性、効率性の面からその限りではない。

校長室、保健室、相談室は小学校、中学校でそれぞれ1室ずつ設けるものとする。

### ② 敷地利用、動線の検討

校舎の敷地内及び敷地周辺の状況を把握し、校舎及び附属建築物並びに敷地外部からのアクセス及び駐車場等との位置関係に配慮した動線計画を検討する。

### ③ 意匠・構造計画

基本計画に記載の内容を具現化しつつ、地域や周辺環境と調和した意匠計画とするとともに、校舎としての特性を踏まえた経済的な構造について検討を行う。

### ④ 木質化計画

公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律及び三重の木づかい条例の規定に基づき、木材の利用について検討を行う。

また、県内産の木材についても積極的に利用するものとする。

⑤ 防災避難計画、耐震計画

地震・津波等の災害時において、児童・生徒、職員等が安全かつ迅速に避難することができる構造・設備のほか、災害時等において、校舎に必要な機能が損なわれないよう非構造部材や設備機器も含めた耐震計画を検討する。

⑥ セキュリティ計画

不審者の侵入防止や犯罪等、児童・生徒の安全を守るためのセキュリティ対策には慎重に検討を行う。

⑦ ライフサイクルコスト（LCC）

イニシャルコストのみではなく、施設のランニングコストを含めたLCCについて検討する。

また、建築物の長寿命化についてもあわせて検討する。

⑧ ユニバーサルデザイン

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（円滑化基準）及び三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例の規定に基づき、各種基準に適合させるとともに、より使いやすく安全な設備の設置等について検討する。

⑨ 環境保全計画、省エネ計画、再生可能エネルギー

省エネルギー、自然エネルギー、リサイクル認定製品の使用、廃棄物の排出抑制などについて、設置・維持管理コストも考慮しつつ検討する。

敷地内・周辺の環境や景観にも配慮した計画について検討する。

⑩ 地業計画

地盤の状況を把握し、費用対効果を見極めつつ、適切な構造について検討する。

基本設計時に敷地利用計画を行う際、現在進めている造成設計と基本設計の地盤高さ等を反映させるために、造成設計業者との調整を行う。

2. 地質調査、行政手続等

- ・ 本業務において必要となる場合において、発注者は、別途地質調査業務を発注するが、当該発注に関して必要な事項を検討する。

また、応答解析等の特別な調査が必要な場合、調査の具体的な内容を検討する。

- ・ 本業務に含まれない行政手続については、必要な図面、書類等を作成する。

### 3. 施設利用予定者等のニーズの把握等

- 設計を進める過程で、受注者は、必要事項の説明、情報共有、提案、検討会議、ヒアリング、既存施設の見学、現場の実情の調査等、主体的に実施し、できる範囲で設計に反映する。
- 設計の所定の段階において、教職員や関係団体等の意見を聴く場合があるが、その際に必要となるわかりやすい説明パネル、資料等を作成する。
- そのほか、必要に応じて専門家の意見を聴く可能性があるが、その際には可能な範囲で協力する。
- 検討においては、実用性と経済性を兼ね備えた合理的な設計に努め、常にコストを意識する。